

# PTAの皆様ののおかげで7月22日・23日配布予定 だった遺愛祭の予約お弁当を完売できました!!

函館および遺愛でのコロナ感染者急増に危機を感じ、思い切って5日早い7月20日に夏休みに入り、当初7月22・23日予定だった遺愛祭を8月16・17日に延期の判断をしました。そのために**大きな課題として浮上してきたのが、事前予約のお弁当**でした。2日間合計で1,279個の予約があったお弁当をどのようにするか、もう食材の仕入れも完了しているのでお店にキャンセルのお願いもできません。

そこで**PTAの三役と母の会の方々が知恵をしばって考えて下さったのが、**  
①注文していただいたご家庭にできるだけ学校のほうに取りに来ていただくこと。(ドライブスルー方式で) ②北斗市や七飯方面の方々と取りに来ていただけないご家庭には宅配をすること。③さらに遠隔地で、取りに来ていただくことも宅配も無理なご家庭には返金すること。④返金したご家庭のお弁当を無駄にはできないので、新規に申し込みを受付け販売することを考えました。準備も含めて3日間で、のべ67名のお母さま方がお手伝い下さいました。三役の方々の中には、ご家庭で連日徹夜の作業で集計、宅配先準備をして下さった方もいらっしゃいました。

初日のドライブスルー方式は、慣れないせいでスムーズにいかず、車でお待ちいただいている方に速やかにお弁当をお渡しできずに、多大なご迷惑とストレスをおかけしました。申し訳ありませんでした。しかし2日目は、改善点を洗いだし、滞ることなくお渡しできました。宅配については両日とも教職員が担当し、時間通りにお届けできました。(宅配先準備を綿密に行ってくださった保護者の方のおかげです。)



新規申し込みの受付については、当日受付なのに 渋滞のドライブスルー (1日目) 大人気で、瞬く間に売り切れてしまいました。新規購入を楽しみにいらしたにも関わらずお渡しできなかった方々には大変申し訳なく思っています。

夏休み中にPTA三役のもとに寄せられた保護者、飲食店の方々の声を紹介します。

## (保護者の声)

「お疲れ様でした！お弁当選ぶところから楽しかったです。そして、引き渡し、色々工夫されていて、みなさん連携プレーなのが見てわかりました。ありがとうございました！」

「1日目も2日目も行ったんですが、2日目が改善なさっているのがよくわかりました♥」

「先週、美容室にきたお客さんに遺愛の保護者がいて、その方は配達を希望されたので、とても感謝していた、と教えてもらいました。そのように言ってもらえて嬉しかったです。」

「母の会 ... お疲れ様でした。急なお弁当販売、お手紙見てるだけで大変さが伝わりました。

お手伝いのお母さんをまとめるのも大変だったと思います。来年はしっかりお手伝い頑張

ります。」

「30分待ったのに現金売りがもうなかった」

(飲食店の方の声)

「なぬー！中止になってたのか！！そんなことも知らず呑気にお弁当詰めてました。とってとってもお疲れ様でございました。」(PokkeDish齊藤様 お嬢様が今春遺愛卒業)

「おはようございます ☺ この度はたくさんのご注文ありがとうございました。延期は残念でしたがキャンセルなしとは。皆様に感謝です。こちらこそ今後ともよろしくお願ひします 🙏」 (おにぎりあゆみ屋、野呂様。遺愛卒業生)

「何も知らずに。それは大変でしたね！言うてくだされば調整しましたのにー！ ☹️ お気遣いありがとうございます。本当にお疲れ様でした。こちらこそ、たくさんのご注文、ありがとうございました。コロナ第七波により函館もまた厳しい空気になって来てしまった今、本当にありがたかったです。」 (Cafeマルセン、佐藤様 遺愛卒業生)

「無理しないでキャンセルでもいいのに、色々お弁当のことで気遣いしてくださり感謝します。」 (キッチンかめ、上林様 遺愛卒業生)

同様に、カレーパンを提供したCafeRobの高野様(遺愛卒業生)も口頭で(コロナで大変なので)感謝の言葉を言われました。いか清さん(お嬢さんが在校生)も販売するなら倍以上の内容のお弁当を800円で提供くださいました。はこだて海鮮市場さん(お嬢さんが在校生)も、お弁当の中にサービスの品を2品入れてくれて、さらに2日目にはスタッフの皆さんへとデザートをご提供いただきました。微力ながら飲食店支援になれば・・・と思っていたのに、逆に飲食店の方々から支援いただきました。



エアコンのきいた遺愛アリーナでお弁当の仕分け

ビブスをつけた教職員がお車へお届け(2日目)

以上をふまえてPTA三役の声として、「私たちの反省点は多々あり、三役の中で共有しましたが、今回のさまざまな経験を教訓に、以後は提案前に熟考し、その上でやることになってピンチがきたら皆で知恵を出し合って乗り切る！と考えています。(三役の間では「心は一つ！」をスローガンにしていました)」

「先生方には本当にご迷惑をお掛けしましたが、1日目の会議室にいらした先生方の数(30名以上)を見て本当にびっくりし、そしてありがたかったです。」

「PとTが一つになって乗り越えられたことは感動でしたし、PとTの絆が深まったように感じました。」…Tの側もそのように感じましたし、保護者の方々および同窓生の方々も含めて遺愛パワーを実感しました。大変ななかにも良き交流があって心から感謝です。

2022年8月1日(月)